



第一地区住民自治協議会 住自協だより

第 60 号
令和 6 年 10 月発行

第一地区は 茂菅・新諏訪町・西長野・桜枝町・狐池・花咲町・往生地・横沢町・西町上・西町南・上西之門町・西之門町・栄町・立町・若松町・旭町・長門町の 17 町で、令和 6 年 9 月現在、世帯数 2,771 戸、人口 5,294 名（市統計）です。

発行：第一地区住民自治協議会

事業報告

教育文化部会「三世代ふれあいハイキング」

8 月 2 日 信濃町フィッシングランドはなおか 54 名参加

6 年ぶりに信濃町で子供 21、大人 33 名で開催しました。

子供たちは魚釣り、魚つかみ取り、浅い池でのボート遊びと自然の中で大いに楽しみました。大人たちは子供の喜ぶ顔を見ながら、暑い日差しと熱い炭火で汗を拭きふき美味しい BBQ を用意しました。参加者はコロナ前にくらべ半分程になりましたが、楽しい世代交流ができたと思います。



安全防災部会

防災講演会「信大出前講座 大地震に備えるための地域の取り組みとはなにか」

講師：信州大学教育学部教授 廣内大助氏

8 月 27 日（火）自治会館にて 44 名の参加で実施。

廣内教授は地理学を専門とし、活断層地震等で起こる地殻変動の研究・地形と水害の関係・過去の災害からの防災教育に取り組み、昨年開所した信州大学教育学部 防災教育研究センターのセンター長を兼任されています。

1 月に発生した能登半島地震では発生から 2 日目には現地調査を開始、その後も何度も調査に行かれています。日本海には数多くの活断層があり過去にも地震による被害が発生しています。能登半島の地盤は新生代第三紀の堆積岩や火成岩で形成され、新しく脆いため地震や雨で崩れやすい地層であり、その地層は長野県にも続いているとのこと。





長野県でも善光寺地震を起こした長野盆地西縁断層帯は周知の通りですが、松本牛伏寺断層を含む糸魚川ー静岡構造線活断層帯は、日本の数多い活断層の中でも地震発生の危険度が高いとのこと。その全体が活動した場合、長野市も震度5強～6弱の大地震になり、全壊 12,370 棟、死者 600 名、被災 2 日後の避難者数は 62,400 人、第一地区でも全壊約 30 棟、死者 2 人、避難者 600 名近くが想定されています。

2016 年の熊本地震では一つの避難所に 700 人以上が避難し、体育館や教室が満員となり、食糧は翌日にやっと 100 個のパンが支給、トイレは汚物で溢れたとのこと。第一地区でも同様なことが起こるのでしょうか。その時の対応はどうするのでしょうか。勿論完璧な対応は無理でしょうが、有事の際の対応を準備しなければならないと思います。

廣内先生は大地震に備える地域の取り組みとして、「①最低限の目安として**地域のリスク(震度や被害想定、浸水・土砂災害)を知る**。②自然災害を**くい止めることは無理**。③発生後の対策ばかりでなく、**事前に準備(予防)する**。④**避難所は自主運営が必要**で、そのために、いざというときに**しっかり動ける仕組み体制を整え、訓練しておくことが大切**。」と言われます。

安全防災部会では、災害への対応として「第一に家庭での備え（安全な場合は避難せず自宅で避難）、第二に近隣住民助けあいで可能な人命救助と町指定の集合場所で安否確認、災害時要支援者・自宅避難困難者の市指定避難場所や避難所への誘導」を町としておこなってもらい、住自協としては行政機関と連絡を取りながら避難所開設を行い、避難者の安全を図ろうと考えています。その為の訓練も内容を変えながら毎年実施しています。今年は 10/19 に、城山小学校で第二地区住自協の防災訓練に参加、10/27 に加茂小学校で避難所開設訓練、10/29 に西部中学校と地域合同の防災訓練を予定しています。各々多くの住民の参加で実施したいと考えております。詳細は後日回覧等でお知らせします。

「防災士を募集します」安全防災部会長 森木義行

この頃、防災士という肩書を見たり聞いたりする機会が増えたと思います。

『防災士とは”自助”“共助”“協働”を原則として、社会の様々な場で防災力を高める活動が期待され、そのための十分な意識と一定の知識・技能を修得したことを日本防災士機構が認証した人です。**まず自分と家族を守るために、わが家の耐震補強、家具固定、備蓄などを進めます。それを親戚、友人、知人に広めていくとともに、地域・職場での防災啓発、訓練を実施していきます。だれかが積極的に声をかけなければ、人は動きません。防災士は、まず自分が動き、周囲を動かすよう努めていきます。**』（防災士機構 HP より抜粋）

安全防災部会には現在 10 名の防災士が所属し活動していますが、第一地区全体に防災啓発するにはまだ人員不足だと思います。また、第一地区に女性の防災士がいません。防災・避難所運営には女性の視点が重要と言われます。ぜひ、男性女性を問わず、防災士資格取得をお願いしたいと思います。資格取得にかかる費用は安全防災部会で負担します。

資格取得講座、会場は松本大学で次回は、来年 3 月 8 日（土）・9 日（日）の二日間になります。次年度以降も年 3 回ほど実施されます。詳細は事務局までお問い合わせください。

◆第一地区住民自治協議会事務局

〒380-0833 長野市大字鶴賀権堂町 2201 番地 20 権堂イーストプラザ ND1 階

電話：262-1217（FAX 兼）

E-mail：dai1@clock.ocn.ne.jp